

彩
椿



for adult only

彩
椿



前説。

毎度ありがとうございます。綾坂です。何だ？今回新刊じゃないのか？と思われた方すみません。去年完成を見なかった原稿の終了版でして、まあ、うちとしてはうちがデジタルで1C原稿をやるとうなるか、という実験でして、うちにとっては意味のあるものなのです。なので、ソウルイーターの椿の本ですが、実験は実験として、冬CD版をお買いになられた方も一応楽しめるはずなくらいには手を入れました。喜んでいただければ幸いです。

あ～それから。皆さんお待ちかねのうちの看板であり、なおかつ今回のカタログのカットでもあった「涙月」ですが。また落としました。すみません。いえまったく自分の不徳のいたすところで。ブログでお客さんにも怒られました。煩惱と気力をためてがんばりたいと思います。

これ、椿の本ですが、一番最後に別のキャラが載っています。今テレビやってる最中のアニメ「化物語」から戦場が原ひたぎ。最後まで今回描きたかったモチーフでした。羽川翼を描けなかったのが心残り。そちらはまた機会があれば。

今回もぎりぎりのスケジュールの中でがんばってくれたスタッフと、本を作ってくださったニモ印刷さまに感謝。

奥付

2009年8月14日 発行 スタジオSKB



「フラック☆スターに
手出しはさせません!」

「ムダだ
武器のお前
では勝てん」

「それでも
命を懸けて
阻止します!」

そのくらいの
覚悟は
できてます!」

「一ほう?
おもしろい」



「よかろう
その覚悟
見せてみる」

「一っ!」

「俺を納得
させられれば
助けてやらん
事もない」

「本当…ですわね…」

おぎゃ

「女は久しぶりだからな」

「たっぷり
味あわせてやるぜ」

…ブラック☆スター…
…きつと私が
守ってみせる…」

もみ

「青くせえ
ガキだが
いい体してやがる」

もみ

「フッフッフ まったく
このもみごごち
たまんねえな！」

「…っ！…っ！」

「俺は乳首
いじるのが
大好きだよ」

「ほれほれ」

「ううっ
うあ…」

「あーっ」

「んく…！」

椿の中に
電気が走る



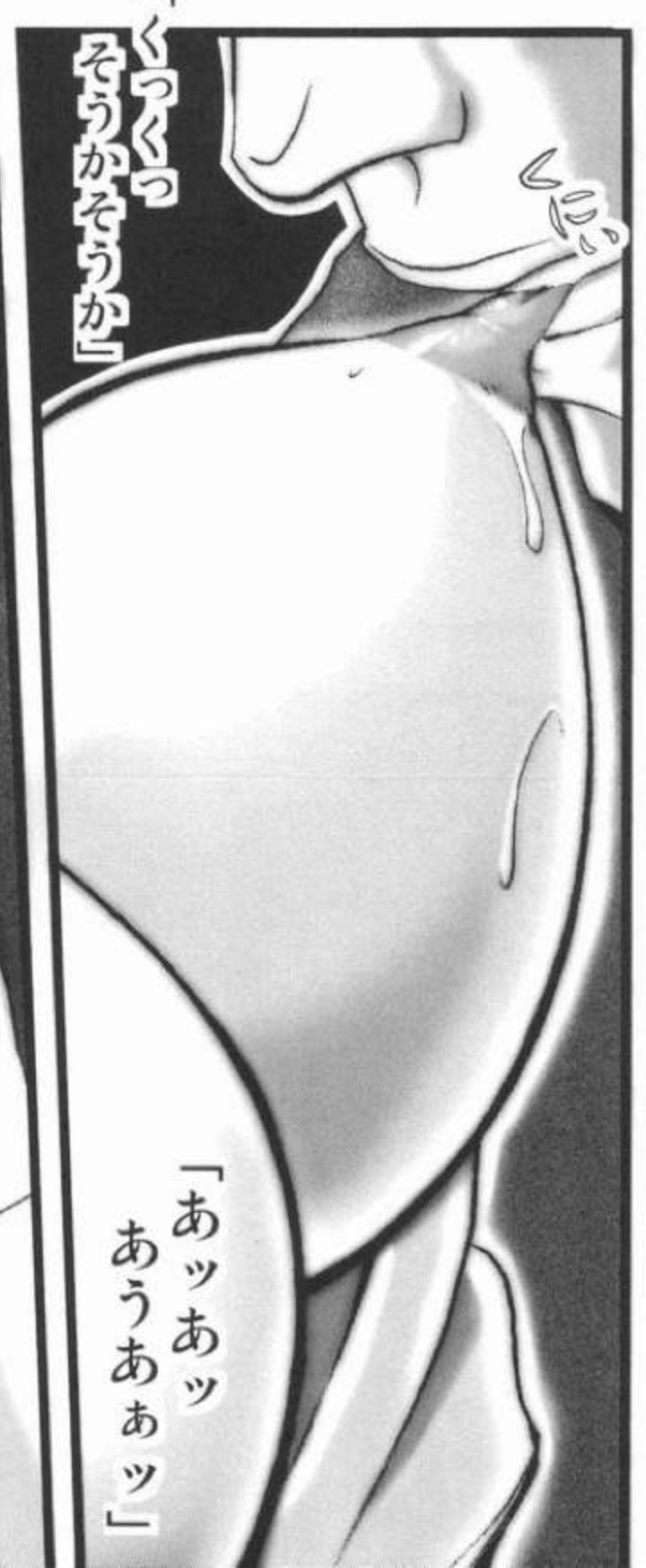
「しっしっしっ
こいつの
指…」

「やだ…
やだあ…」

「あ…
あうっ」

「今までの
男としたことは？」

「…っ
ありませ
ん………」



「くっくっ
そっかそっか」

「あッあッ
あうあッ」

「じゃあおれが
はじめての男か」

「……っ」

いっ
は
いっ
は

ぬ
ぬ
ぬ

「抵抗したければ
すればいい」

「だが その時は」

「っ…」
「こんな男が
私の始めて…」

「ブラック☆スター」は
私が守る……っ」

「もつとケツ
持ち上げる」

「良く見える様に
指で開け」

「お前の処女膜
見せてみる」

「……」

「くくく
シヨンペンくせえ
小娘のマンコの
においだ」

「処女の
においだ」

「見てる……
私のアソコを……」

「これが
未使用の
マンコの色か」

「この色の
薄いのが
処女膜か？」

く
に
う

「し……
知りません……
自分じゃ
見えません
から……」

「そりや
そうだよな」

「あの小僧にも
見せたことないのか？」

「……は……」

『……』

「いやあ……
アソコでって
……」

「皮かむりだ」

ムキッ

「こっぴやうって
クリをいじった
事は？」

「あッあッ」

「皮ムイたり
かふせたり」

「あ…っ！
ありませ…」

「な…何これ…
あそこが…うづく…」

「あう…や…
やめて下さ…」

「へえ オナニーも
知らねえのか」

「ひっ…？」



「お…おな…？」

「こいつは
面白え」

じゅるじゅる

「あああつ
汚…っ」

「どうせなら
穴ポコ開ける前に
味わって
おがねえとなあ」

れろ
れろ
れろ

「ひいっ」

「シヨンペンくせえ
小娘と思つたが」

「いい味出して
るじやねえか」





「ふあー!？」

ちゅっ

ちゅっ

「あッーッあッ
あうあッあ」



「だ…だめです
そこは…」

「あ…ひませ…」

「あああッ」

「ひあは!？」

「はあッ!？あッ」



そ…

そこは
おしりの…

「ひうっ!」

「あッ…あッ」



「んく…んく」
「んく…んく」

「や…やだ
こんなの…」

こんなこと
されてるのに

「何で…
私の体…」

「う…くくッ」



「これが…男の…」

「う…」

ツンとする
においが…」

「丁寧に
舐め残し
ない様にな」

「気持ち
悪い…」

「変な味…」

「舌がビリビリ
する…」

「ん〜」

「うえ…」



「おっ」

「ほ」

「うえっ」

「く…苦し…」

「うぐっ」

「うららら」

「ブラック☆スター…」



「……死ぬ……」

「……」



「ぐぐうっ」
「かほっ」

「ぐぐうっ」

「ぐ……」

「うぐぐうっ」

「おおお
なかなかい
回まんこじ
ないか」

「かほっ」

「ふんぐううっ」
「かほっ」



「ぬほ」

「……」



「うげ……」

「げほっ」

「げほっ」

「げほっ」

「俺はそろそろ
いい塩梅だ」

「こつちを
向け」

「マンコ見せて
おねだりしろ」



「...」

「お...お願い...します
私の...」

「...じゃ
わかんないだろ
オマンコだろ」

「お...
おまんこ...」

「良く見えねえぞ
もっとひろげろ」



「...」

「あ あなたの
股間のソレ...を」

「チンポが
はつきり
言え」

「ち...チンポを...
入れて...下さい...」

「処女をもらおうぞ
いいんだな?」

「ほ... はい...」

「マシコの中で
精液フチュブチュ
出すぞ
いいんだな?」

「...はい...」

「孕んじまっても
いいんだな?」

「.....」

「よし 頼まれちゃ
仕方ねえ」

「二発で孕めるように
子袋いっぱい
種つけてやる」



「いいか 目を
離すんじゃないぞ」

「おまえを女にする
大事なチンポが
入っていく瞬間だ」

「……はい……」

ブラック☆スター
……っ

私が……
守るから……っ

私が……

ブラック☆スター
……

ぐい
ぐい

「ひ……」

「……こんなの
入るわけ……ない……っ」

「小さいマッコに
無理やりつてのが
気持ちいいんだよな」

……いやだ……

いやだ

ひい

ぐい
ぐい

いやだ

……いやだ

「Spoo~」

「……」

みちみち
みち

みち

「い
いや……」

……助けて

「……あ……」

「あああああ」

……助けて……っ

「オラァ！」



「ぎゅ……っ」

「あああ……ああ……」

「入ったぜえ」

「根元までぐっぽりだ」

「……ああ……」

「ひい……っ」

「でけえだろ?」

「届いてんまで」

「ああ……っ」

「いやああ……」

「つかあ……っ!
しつかあ……っ!
処女まんこ
串刺しは
効くなあ!」

「ギチギチに
締めつけやがる!」

「あ……あああ」

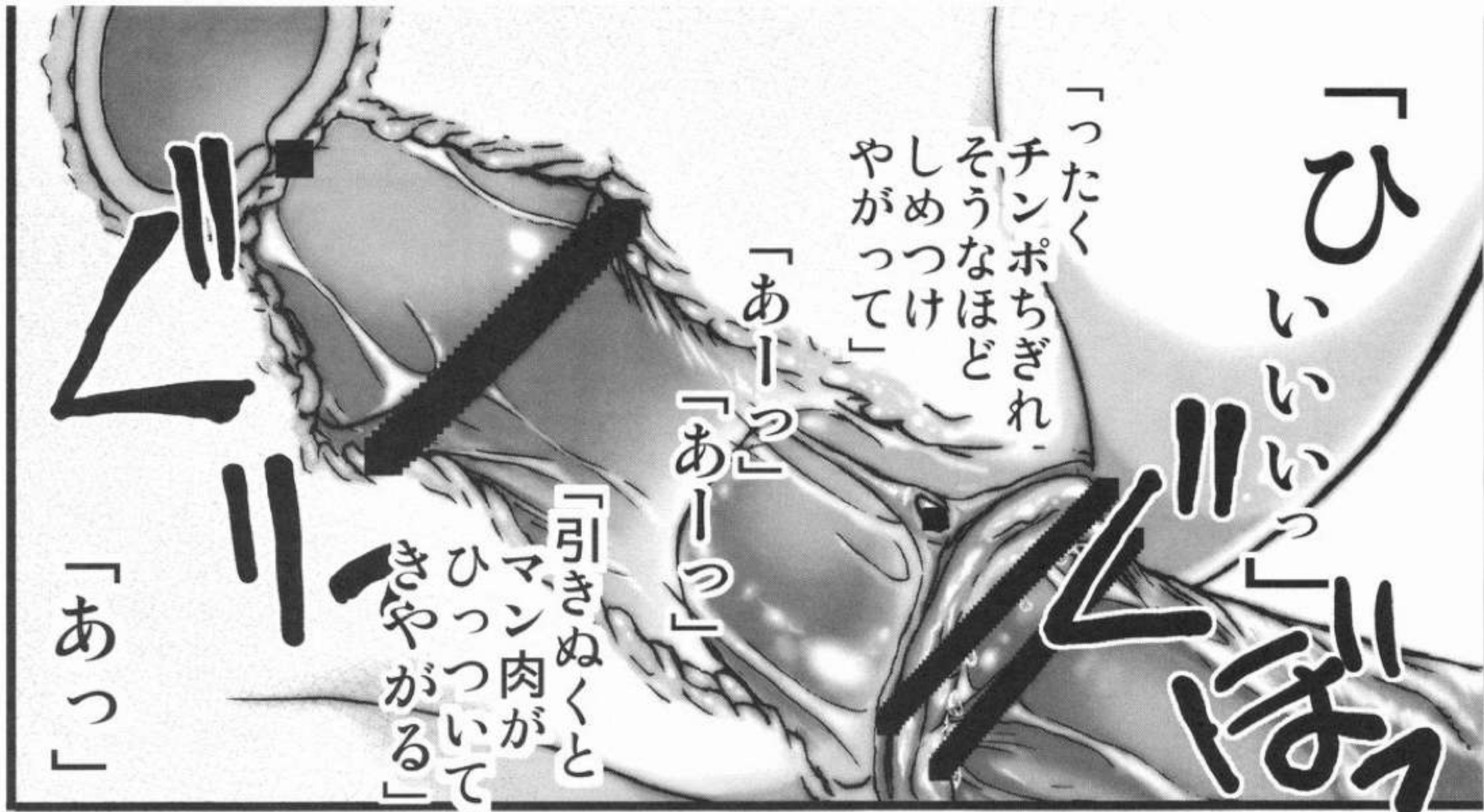
「ゴコン」

「いや……
いやあ……っ」

「わ……私……
私のはじめて……
わああ……っ」

「まだ穴あけた
だけだろ!」

「ひぎ」



「ひ
いいいいっ」

「まったく
チンポちぎれ
そうなほど
しめつけ
やがって」

「あーっ
「あーっ」

「引きぬくと
マン肉が
ひつついて
きやがる」

「あっ
「あっ」



「俺のチンポ
そんなにいイイのが」

「びるん
びるん」

「ひびー」

「子宮にチンポ
あたりまくって
るぜ」

「痛い
痛いー」

「かっ
かっ」

「大人顔負けの
いやらしい体
しやがってよ！」

「死んじやう
死んじやう」

「かっ
かっ」

「あーいいいぜえ
いいいぜえ」

「ひいひいっ」

「だんだん まんこ
ほぐれてきつたぜ」

「いやあ」

「好きでもない
男に犯されても」

「いやああ」

「体は喜ぶん
だなあっ」

「おちが」

「ガキのくせに
この淫売が」

ぐちゅっ

ぐちゅっ

ぐちゅっ
「あーっ」

「く……
てめえの
よすぎ」

「この俺様が」

「あーっ」

「うわ

たまんねえ」

「あーっ

あーっ」

「こんななんじゃ

すぐでちまうぜ」

「あッあッあッ」

スリ
スリュッ
スリ
スリュッ

いや
いやあ

「来たぞ」

「ひっ」

がく

「来た」

来た

来た」

「出すぞ

出すぞ

出すぞ」

がく

「やだあ助けてっ」

「やっぱり

腔なかはいやあ」

「くっ」

「二番奥で」

「出してやるっ」

「ふやーっ」

「孕めー」

「ふや」

「いやあああああ」

「っ！」

ズ
ズ
ズ

「きゃあああ」



「いやああ
妊娠しちやうううっ」

「ぎやあああつ」

かぐ かぐ

ぐんぐん

熱いのが
出てるっ

んや

あーっ

私…

汚れちゃった…

ズル
ズル
…
ツ

どく

あ…
あ…
あ…

まだ…
出てる…

さよなら

ブラック☆
スター





2009 summer

studio SKB